

「19 人権の広場」を開催しました

第 28 回「人権の広場」を、11 月 17 日(日)午後 1 時 30 分より、市文化センター小劇場にて開催しました。

令和元年度岐阜市小・中学生募集「人権に関する詩と標語」の入賞（最優秀賞、優秀賞）者への表彰式および作品の紹介を行いました。

◆◆最優秀賞◆◆

<詩部門> 市橋小学校 6年 松上樹里亜さん
茜部小学校 6年 大矢 琉斗さん
<標語部門> 早田小学校 6年 山崎 梨琴さん
岐阜清流中学校 2年 伊 礼 莉 紗 さん

◇優秀賞◇

<詩部門> 市橋小学校 6年 福井 那菜さん
市橋小学校 6年 井出 優槻さん
日野小学校 4年 中村奏知朗さん
<標語部門> 岐阜小学校 6年 中西 匠見さん
岐北中学校 1年 國島 菜稀さん

続いて、主催者を代表して柴橋正直市長があいさつしました。

その後、『老いの風景』作者・渡辺哲雄さんが『ストーリー・ケアの勧め~初期認知症高齢者から自発性を引き出すケア方法~』と題して、講演をされました。ご自身の実母の介護体験に基づき、具体例を挙げながら初期認知症高齢者への接し方やその尊厳を大切にすることにつながる話でした。

地域や企業、PTA、学校などから約 300 人の参加があり、人権を尊重するまちづくりについて考えるよい機会となりました。参加者の感想を一部紹介します。

- 初参加です。今回の行事に興味を持っていました。小中学生の「詩と標語」の発表に、感動とうれしさがこみあげました。講演も体験談からの話で、身になりました。
- 毎回、子どもさんたちの作品に感心させられます。特に、松上さんの詩に感銘を受けました。信頼できる友人を大切に、すてきな大人になってほしいと願っています。
- 講演会では、現在はほぼ視力もなくなってしまった認知症の母の介護をしているため、たいへん参考になりました。「命令」「禁止」「指示」をじょうずに避けながら、母といかに付き合っていくか。ストーリーケアをもっと早く知っていたら、母の介護に役立てられたのに…と、少し残念に思いますが、今からでも心がけていきたいです。



【作品を朗読する松上さん】



【柴橋市長と記念の1枚】



【講師：渡辺哲雄さん】

